

シリーズ 2, 富山で育つ宿根草

(1) アルケミラ・モリス

職藝学院 教授 渡邊美保子

葉はもみじまんじゅうのような形、肌触りはカシミアのマフラーみたい、雨が降ると葉の上で銀色の水玉が踊りだす、という育ててみたくなりませんか？ アルケミラ・モリスは、ヨーロッパ原産の寒さに強い宿根草で、レモン色の小さな小花がたくさん集まって空気中をふわふわ浮いているように咲きます。富山では、5月の末から咲き始めて3週間ほど楽しめます。栽培のポイントは、夏の高温に弱いので落葉樹の下など西日のあたらない明るい日陰に植栽することです。苗を植え付けてから3年ほどで草丈30~40cm、幅50cmぐらい

に広がります。葉は常緑で、春になると扇子をたたんだような新葉が伸びてくるので、その前に古い葉、枯れた葉を根元から刈り込みます。また、開花後は、花茎を根元から切り詰めると新しい葉が出てきます。アルケミラ・モリスは花も楽しめますが、葉の形や質感も楽しめる宿根草です。おすすめの組み合わせは、アルケミラ・モリスの横に赤紫色の葉を持つツボサンゴの品種パレスパープル、その後に銀灰色の葉を持つイングリッシュラベンダー、ラムズイヤーなどを組み合わせると葉のコントラストがとてもきれいです。

